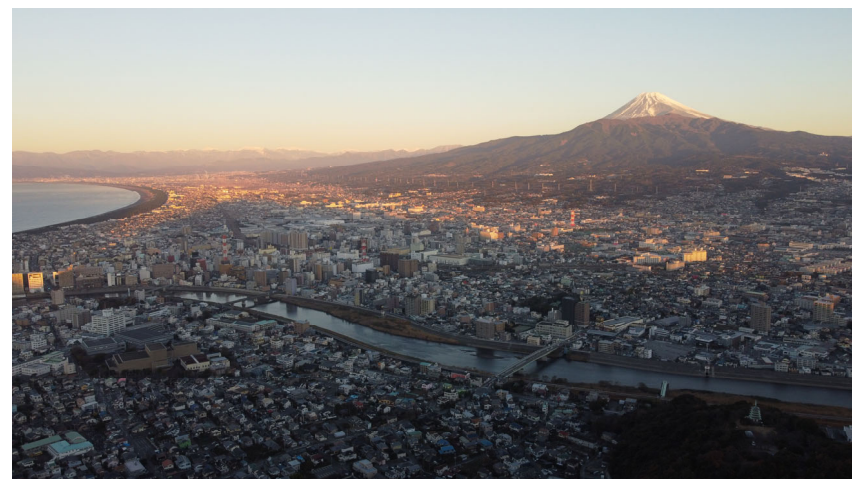


# 静岡県沼津市における「地域アプローチ」による少子化対策の取組状況

## 【沼津市の概要】

- ・人口：187,344人（令和6年3月1日現在）
- ・面積：186.82平方キロメートル
- ・合計特殊出生率：1.41（平成25年～平成29年）
- ・有配偶率：54.4%（令和2年）
- ・有配偶出生率：66.1（令和2年）
- ・地域の特徴：

静岡県東部の中心に位置する沼津市は、約63kmもの変化に富んだ海岸線を有し、北に富士山を仰ぐ温暖な気候風土に恵まれた景勝の地です。また、首都圏より100 km圏内にあり、古くから、鉄道・車・船舶などの交通の要衝とされ、広域的な経済・文化の拠点として中心的な役割を担ってきました。



香貫山から中心市街地を見下ろした夕景

## 【沼津市における課題及び目標】

### （課題）

- ・子ども医療費の無償化や妊産婦の支援、教育への投資により子育て世代の満足度の高まりや若者世代の社会移動の改善が見られたが、出生数や子育て世帯数は依然として減少傾向である。
- ・若い世代が沼津市で子育てしたいと思える環境づくりを力強く推進する必要がある。

### （目標）

- ・少子化対策に係る地域アプローチ検討会にて、本市の特性を生かし、**若い世代が沼津市で子育てしたいと思える環境づくり**に繋がる施策を検討、立案する。

# 沼津市における「地域アプローチ」による少子化対策の取組状況（令和5年度）

## 【STEP 1：部局横断的な検討体制の構築】

- ・少子化には様々な要因が絡み合っていることを踏まえ、令和5年12月に多くの分野に対応できる部局横断的な体制（少子化対策に係る地域アプローチ検討会）を立ち上げた。  
⇒第2期沼津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標3「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」を達成するための具体的な取組を所管する9課及び移住定住推進室で構成
- ・構成するメンバーは、所属の少子化対策に係る事業を把握したうえで、具体的な取組を検討できる係長級職員をベースとした。

## 【STEP 2：客観的指標の分析による地域特性の見える化】

- ・少子化対策地域評価ツールを活用して、客観的指標を県内35市町と施行時特例市と比較した結果、以下の要因仮説を立てた。  
○第2子、第3子の出生率が低い  
⇒第1子を産んだ後に、近隣市町や県外へ引っ越してしまっているのではないかと。

## 【STEP 3：主観調査による地域特性の把握】

- ・検討した仮説が正しいか、地域の特徴を生かした少子化対策に係る取組を立案するため、職員向けアンケートを実施する。（R6.3末）  
～アンケート対象～  
子どものいる職員で市外に住んでいる方  
～アンケート内容～  
結婚時期と転出時期の関係性、市外に転出した理由、持ち家と賃貸の割合、市が抱える子育てに関する課題点 等

## 【STEP 4：地域の強み・課題の分析】

- ・R6年度の新たな組織体制を検討会に反映させたうえで、R6夏頃を目途に、得られたアンケート結果をもとに要因仮説が正しかったか検討するとともに、少子化対策に繋がる施策を検討するにあたって必要な沼津市が持つ地域資源やならでの強みを整理する。

## 【STEP 5：対応策の検討／STEP 6：対応策の実行】

- ・検討会メンバーから地域資源や強みを活用した対策案のアイデアを募り、その中から今まで検証してきた課題や実態に則した案を選ぶ。
- ・R6夏頃までに次年度の予算に反映できる施策となるようブラッシュアップする。